

大東文化大学経済学会
2019 年度学生懸賞論文等募集要項
【博物館小論文部門】

大東文化大学経済学会では、毎年、経済学会の学生会員である本学部所属の学生を対象に「懸賞論文」等を募集しています。昨年度に引き続き、**経済学部1年生を対象として博物館小論文部門**を募集します。

本部門に応募するには、「経済学会が指定する博物館」(本年度は「鉄道博物館」)に行ってみ学する必要があります。応募された小論文は経済学会執行部および運営委員会が審査・表彰し、優秀な作品については他の部門と同様に、『学生懸賞論文集』に掲載します。以下の募集要項や注意事項をよく読み、奮って応募して下さい。

1. 経済学会が指定する博物館

鉄道博物館

住所 〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目47番

交通アクセス JR「大宮駅」でニューシャトルに乗り換え、「鉄道博物館(大成)駅」で下車して徒歩1分

入館料(当日) 個人一般1人1,300円

ホームページ <http://www.railway-museum.jp/>(事前に開館日・開館時間等を確認すること)



2. 小論文の課題(テーマ)

「鉄道博物館を見学したうえで考えた、日本の鉄道およびそれに関連する事業に対する自らの意見・批判・提案など」(タイトルは各自で考えて下さい)

3. 応募規定

- 応募資格者は大東文化大学経済学部1年生です。
- 小論文は未発表かつ日本語で書かれたものに限りです。
- 応募形式は単著(1人での執筆)とします。共著(2人以上の執筆)は不可です。
- 文字数は2,000字程度とします(それ以上でも可)。

- 二重投稿(同じものを他の論文コンテスト等に重複して応募すること)は禁止します。
- 鉄道博物館への見学を証明するため、来館日を示す「日付スタンプ」が押された「来館記念カード」を小論文の左上にホッチキス留めをして、応募してください。

4. 小論文の体裁

規定の投稿用フォーマットを使用してください(経済学部ホームページからダウンロード可)。

- 表紙にタイトルおよび学科・学年・学籍番号・氏名を必ず明記してください。
- データや図表を用いる場合は、本文中に入れてください。ただし、字数には換算しません。
- 書籍や新聞等の文献から引用および発想を転用した場合は、それらを明記してください(表記方法については別紙参照)。また、ホームページ上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記し、プリントアウトした資料を添付してください。
- タイトルの後に総文字数を入れてください。

5. 応募方法・応募締切日・応募先(提出先)

- **応募方法**
規定の投稿用フォーマットを利用し、紙で(印刷して)、各「基礎演習」担当教員に提出してください。なお、小論文には上記の「日付スタンプ」が押された「来館記念カード」を必ず添付すること。
- **応募締切日・時間** 2019 年 **11 月 6 日(水)までの各「基礎演習」の時間**
- **応募先(提出先)** 各「基礎演習」の担当教員

6. 入館料の返還等・賞(賞金)・掲載可否の発表

- **入館料の返還等**
日付スタンプ入り来館記念カードが添付された小論文を応募した学生で、応募規定を満たしている者には、経済学会が**入館料を返還するとともに、図書カード 500 円分を贈呈**します。
入館料の返還方法は現金で、入館料の返還および図書カードの贈呈は 12 月にまとめておこないます(日時・場所等の詳細は対象者に直接連絡します)。
- **賞(賞金)**
応募された小論文は経済学会執行部および運営委員会が審査・表彰します。賞および賞金は以下の通りです。
 - ・ 優秀賞(賞金 1 万円)
 - ・ 奨励賞(賞金 3 千円)
 - ・ 期待賞(賞金 1 千円)
- **掲載可否の発表**
優秀な作品については他の部門と同様に、『学生懸賞論文集』に掲載します。『学生懸賞論文集』への掲載可否は経済学会執行部および運営委員会で審議・決定します。掲載される者については、経済学部ホームページや経済学部公式 SNS(Twitter、Facebook)にて氏名を公表します。

7. 問い合わせ・その他

● 問い合わせ先

tsuchihasi@ic.daito.ac.jp 土橋俊寛(経済学部社会経済学科准教授・経済学会事務局長)

- ・ メールの件名→「学生懸賞論文「博物館小論文部門」について」
- ・ メール本文→①学籍番号②氏名③質問等

● その他

応募にかかわる個人情報は本コンテスト以外の目的では使用しません。

以上